



About South-Tama Community



**南多摩圏域**  
多摩川の南側に位置する二次医療圏域。八王子・町田・日野・多摩・稲城の5市で構成される。人口は140万人と一つの県に匹敵する。

南多摩圏域の高次脳機能障害者  
(平成28年4月現在)

**推計 5,432人**

### 脳卒中や交通事故の後に

脳損傷によって記憶力が低下したり、今まで出来ていたはずのことが出来なくなる。言葉が話せなくなる。急に怒りっぽくなるなどの変化が起こることがあります。これらの症状を「高次脳機能障害」といいます。

## まずはご相談ください

**南多摩高次脳機能障害支援センター** (月～土 9:00～17:00)

**電話 : 042-666-5882**

FAX : 042-666-5881

メール : info@m-kojino.com

〒193-0942 東京都八王子市栲田町 583-15

医療法人社団 永生会 高次脳機能障害支援事業推進室

支援センターHP

URL : <http://www.m-kojino.com>

南多摩地域 (八王子・町田・日野・多摩・稲城)

# 南多摩 高次脳機能障害 支援センター

東京都高次脳機能障害支援普及事業  
専門的リハビリテーションの充実事業



Tokyo South-Tama Community Based Higher Brain Dysfunctions Center

## Our Mission

# 高次脳機能障害を 繋げる・伝える・支える コミュニティ

### 東京都高次脳機能障害支援普及事業 専門的リハビリテーションの充実事業 とは?

各二次保健医療圏域に高次脳機能障害の支援拠点医療機関を設置し、各圏域内での支援普及を行う東京都の単独事業。

南多摩医療圏域(八王子・町田・日野・多摩・稲城)では平成25年度より医療法人社団永生会が受託し、南多摩高次脳機能障害支援センターとして支援をスタートしました。





## 8月31日 遂行機能障害

先のことを考えたり計画立てたりすることが難しくなる。効率が悪かったり、指示がないと動けない、臨機応変な対応が困難になる。ルーチンな活動は出来るが、仕事や料理など工程数が多く自由度の高い課題は特に難しい。

## 行動やコミュニケーションの問題 社会的行動障害

感情や欲求のコントロールが難しくなり、すぐに怒ってしまう。こだわりが強くなり柔軟に行動できない。他者とのコミュニケーション場面で適切な振る舞いが困難となるなど、多様な症状を示す。



## 左側ものを見落とす 左半側空間無視

目は見えているのに、自分の左側にあるものや、注視したものの左側の認識がなく、あたかも無視しているかのように振る舞う。左側の食べ物に手をつけなかったり、身体の左側をぶつけたりする。主に大脳の右半球の損傷で生じる

ここに記載された症状はごく一部です。脳の損傷部位によって様々な症状が組み合わせて出てくる場合があります

# 01 個別相談

## 高次脳機能障害の専門相談支援 関係機関への支援コーディネート

高次脳機能障害の方が地域で充実した生活するためには、医療や、生活面の支援、就労や経済面に関する支援、福祉サービスなど、多岐にわたる支援が必要となります。作業療法士など専門職が相談対応し、地域関連機関との連絡調整も行います。

退院後の生活が不安。就労支援を受けたい。他の家族がどのように対応しているか知りたい。専門的医療機関を紹介してほしい。リハビリを受けたい。相談費は無料。



# 03 ネットワーク構築

## 必要な時に迅速に連携できる 地域の支援ネットワークを構築

地域で高次脳機能障害の方の支援ニーズに対応するためには他機関との連携が必須です。医療・福祉・介護・行政・当事者家族団体と連携ネットワークを構築するために、各種連絡会を開催する他、関連機関への連絡・訪問・見学などを行っています。

南多摩5市関連機関による圏域内連絡会を開催（年1回）  
協力施設会議の開催（年12回）  
各市における医療と福祉連携イベントの開催

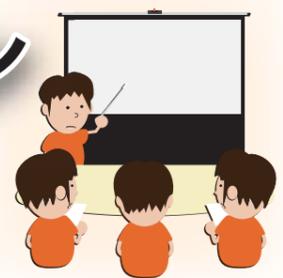
# 当事者・ご家族・支援者 高次脳機能障害に関わる全ての人のために

# 02 コンサルテーション

## 専門職による支援者バックアップ 知識・対応技術を高め問題解決へ

高次脳機能障害の方を担当しているが、どのような障害なのか分からない。どう対応したらよいか。そんな時に、専門職が事業所に訪問し、高次脳機能障害に関する研修・対応方法の検討、ケース会議の開催など、客観的視点からアドバイスします。

高次脳機能障害とはどのような障害なのかを理解を深めたい。通所されている当事者の方への対応方法を検討したい。専門職の視点から客観的な意見が聞きたい。



# 04 普及・啓発・研鑽

## 高次脳機能障害への理解促進 スキルアップへの機会を提供

高次脳機能障害支援においては、周囲の人が高次脳機能障害について正しく理解することが何よりも重要なポイントです。当支援センターでは普及啓発や支援スキルアップへ向け定期的に研修会・症例検討会を開催しています。

南多摩高次脳機能障害支援セミナー（一般対象 年2回）  
生活就労支援セミナー（専門職対象 年1回）  
高次脳機能障害家族相談会の開催（ご家族対象）

## 新しいことが覚えられない 記憶障害

30分前に起こった出来事など、いつかで何をしたかの記憶が困難になる。重度の人では数分前の出来事も忘れてしまう場合も。約束をしたこと自体を忘れて、同じことを何回も聞いたりする。



## うっかりミスが多発する 注意障害

目の前の出来事にしっかりと注意を向けたり、確認することが出来ず、ミスや抜けが生じやすくなる。ごく簡単な課題でミスをしたり、気が散りやすくなる。同時に二つのことを処理するなどが困難となる。



## 言語がうまく使えない 失語症

習得した言語が上手く使えなくなり、簡単な単語を思い出せなかったり、相手の話を聞いて理解できないなどの状態になる。書くことや読むことも困難になる。計算も困難になることが多い。主に大脳の左半球の損傷で生じる。



高次脳機能障害は外見上からは分かりにくく、本人も自分の障害を理解することが難しい場合があります。